

## 2023 SUPER FORMULA LIGHTS Round7・8・9



### Rd.7・8・9 Information

開催サーキット 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

日時 7月1日(土) 7月2日(日)

天候 曇りのち晴れ 晴れ

来場者数 発表なし

2023年の全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権のRound7・8・9が鈴鹿サーキットで開催された。週末を通して天候が目まぐるしく変わるコンディションとなったが、平良響はRound7・8で2位につけ、Round9で今季3勝目を挙げる活躍を披露。ドライバーズランキングでも首位に浮上した。野中誠太も3戦連続3位表彰台を獲得した。エンツォ・トゥルーリはRound9で2度の追い抜きをみせ4位入賞を果たし、古谷悠河も苦戦した週末だったがRound8で4位を手にした。

### PONOS Racing TOM'S 320 TGR-DC

**35** DRIVER  
野中 誠太



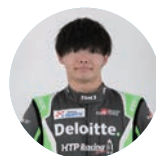
	Rd.7	Rd.8	Rd.9	Driver Rank
予選	4位	2位	3位	▶▶ 4位
決勝	3位	3位	3位	

	Rd.7	Rd.8	Rd.9
予選タイム	P4/1'54.201	P2/1'53.895	グリッドは第7戦の決勝レース結果
ベストタイム	P3/2'12.899	P3/1'55.672	P3/1'57.005



### Deloitte HTP TOM'S 320

**36** DRIVER  
古谷 悠河



	Rd.7	Rd.8	Rd.9	Driver Rank
予選	9位	6位	7位	▶▶ 7位
決勝	7位	4位	8位	

	Rd.7	Rd.8	Rd.9
予選タイム	P9/1'54.570	P6/1'54.496	グリッドは第7戦の決勝レース結果
ベストタイム	P7/2'12.903	P4/1'56.286	P8/1'57.687



### モビリティ中京 TOM'S 320 TGR-DC

**1** DRIVER  
平良 響



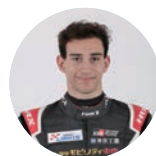
	Rd.7	Rd.8	Rd.9	Driver Rank
予選	1位	3位	2位	▶▶ 1位
決勝	2位	2位	1位	

	Rd.7	Rd.8	Rd.9
予選タイム	P1/1'53.854	P3/1'53.951	グリッドは第7戦の決勝レース結果
ベストタイム	P2/2'12.972	P2/1'55.530	P1/1'56.217 (Fastest Lap)



### モビリティ中京 TOM'S 320

**37** DRIVER  
エンツォ・トゥルーリ



	Rd.7	Rd.8	Rd.9	Driver Rank
予選	7位	4位	5位	▶▶ 6位
決勝	5位	7位	4位	

	Rd.7	Rd.8	Rd.9
予選タイム	P7/1'54.450	P4/1'54.016	グリッドは第7戦の決勝レース結果
ベストタイム	P5/2'12.214	P7/1'56.467	P4/1'56.557



## 2023 SUPER FORMULA LIGHTS Round7・8・9

### 予選

天候:曇りのち晴れ / 気温:29℃ / 路面温度:35℃

## 平良が他を圧倒しRound7ポールポジション Round8では野中が僅差で2番手を獲得。



鈴鹿サーキットを舞台にして行われる第3大会は、木曜・金曜の練習走行ではドライコンディションで走れる機会が多く、総合結果はTOM'Sの4台が上位を独占する好調な滑り出しをみせた。

土曜の予選1回目では、平良が2番手以下に0.298秒差をつける1分53秒854を記録しポールポジションを獲得。開幕大会から予選で苦戦していた野中だが、セッション終盤にタイムを上げて4番グリッドを獲得した。

10分のインターバルを挟んで行われた予選2回目では、野中がさらにタイムを更新し1分53秒852をマーク。0.079秒差の2番手につけた。ダブルポールポジションを目指した平良は1分53秒951で3番手。予選1回目を7番手で終えていたトゥルーリは、2回目に向けて行ったセッティング変更が功を奏し、今季自己ベストの4番グリッドを手にした。

前日まで上位につけていた古谷は1回目が9番手、2回目が6番手と苦戦を強いられる結果となった。

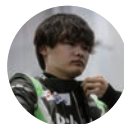


**ドライバー** 野中 誠太

35

今回はクルマのポテンシャルをしっかりと上げられた予選でした。

金曜日の走行時と比べて路面温度と風向きが変わっていたので、それに合わせて細かくセット変更をしましたが、Q1では少し足りなかった印象でした。Q2に向けてさらに変更を加えたことが良い方向に行きましたが、ドライビングでもう少し詰められたかなと思いました。



**ドライバー** 古谷 悠河

36

予選の結果は悔しいですけど、不思議な気持ちの方が大きいです。

金曜日の走行ではすごく良かったのですが、予選になってみたら正直ここまで差が開くとは思っていませんでした。なぜこうなったのかという不可解な状況になっています。決勝レースは後方のグリッドですが、スタートが勝負になると思いますので、着実に順位を上げていきたいです。

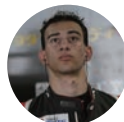


**ドライバー** 平良 響

1

Q1ではトップタイムでしたが、Q2は悔しい予選になりました。

Q1はトップタイムがとれて良かったです。そのままの調子でQ2に臨みましたが、アタックで少し守りに入ってしまった結果3位になってしまい、悔しい予選となりました。今週は天気が微妙ですが、晴れでも雨でも勝てるスピードはあると思っています。



**ドライバー** エンツォ・トゥルーリ

37

Q1からQ2に向けて改善できたけど、もっと良くしていく必要がある。

鈴鹿サーキットを知り尽くしているドライバーばかりの中で、彼らに勝ることはできませんでした。そこに挑んでいくのは簡単ではないです。Q1ではダウンフォースが少し足りない印象でしたが、Q2に向けてセッティングを変更したことが良い方向に行きました。



**チーム監督** 山田 淳

鈴鹿はなかなか抜けないコースなので、スタート勝負になるかと思います。

平良選手がダブルポールを獲れなかったのは残念ですが、野中選手が久しぶりにフロントローを獲得してくれたので、レースが楽しみです。トゥルーリ選手も4番手ですが、まだ悩みながら走っているようすし、古谷選手も予選の最初から一発を決められるようになってもらいたいですね。

## 2023 SUPER FORMULA LIGHTS Round7・8・9

### 決勝

Rd.7 天候:曇りのち雨/気温:27℃/路面温度:31℃

Rd.8 天候:晴れ/気温:30℃/路面温度:40℃

Rd.9 天候:晴れ/気温:34℃/路面温度:55℃

### 平良がRd.9を制し、ランキング首位に浮上。 野中は3戦連続で表彰台獲得の活躍を見せる。



1日(土)に行われたRound7(17周)は、レース直前に小雨が降り始める微妙なコンディションでスタートした。

ポールポジションの平良はレインタイヤに交換したライバルの先行を許し2位。野中は粘り強い走りで3位に入り、今季初表彰台を獲得した。トゥルーリは5位、古谷は7位となった。

2日(日)朝に行われたRound8(12周)は晴天の中での開催となった。序盤から野中と平良が白熱の2番手争いを繰り広げ、最終ラップの日立Astemoシケインでインから追い抜いた平良が2位を獲得し、野中は3位となった。古谷は好スタートを決めて4位でフィニッシュ。トゥルーリは逆にスタートで3つポジションを落とし7位に終わった。

Round9(12周)は、平良がスタートでトップを奪い、ファステストラップも記録する走りで今季3勝目をマーク。ランキング首位に躍り出た。3位の野中は3戦連続で表彰台を獲得。トゥルーリはスタートで順位を下げるも2度の追い抜きを見せる活躍で4位に入り、古谷は8位となった。

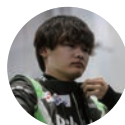


ドライバー 野中 誠太

35

ようやく普通の状態に戻ったけど、まだ詰めが甘いと思っています。

今までの2大会を思えば、だいぶ普通の状態に戻りましたが、まだ詰めが甘い部分がいっぱいあって、平良選手と木村偉織選手に負けてしまっています。さらにしっかりと準備をして、この流れを富士でも維持して、自信を持って頑張りたいと思います。



ドライバー 古谷 悠河

36

グリップ不足を感じた週末でした。チームと見直して次に臨みたい。

2レース目はスタートが決まって4位まで上がりましたが、そこからのペースが良くありませんでした。3レース目も色々とセットを変更しましたが、良くはならずグリップが不足している状態でした。木曜日にもその症状があって、金曜日に改善したのですが、土曜・日曜はうまくいきませんでした。

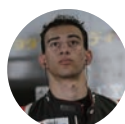


ドライバー 平良 響

1

自分の強さを発揮できた週末でした。この流れで後半戦も行きたい。

自分が成長したところを発揮できた週末だったと思います。土曜日は予選一発でタイムを出せたし、2レース目では野中選手を最終ラップのシケインで抜けたし、そういうところでの強さが身についたことを発揮できたレースでした。後半戦もこの調子で行ければと思います。



ドライバー エンツォ・トゥルーリ

37

3レース目は速さを見せられた。次の富士も引き続き頑張りたい。

1レース目はスリックタイヤで走り切る戦略がうまくいかなかったし、2レース目はスタートでのミスが響いた。そこから学んで3レース目は良いスタートが切れた。結果的に順位を落としたけど、ペースは非常に良かったから前のマシンを追い抜くことができた。



チーム監督 山田 淳

平良選手がランキング首位に立ちましたが、もう少し4台全てのアベレージを上げたい。

今週は結果が上下したところもありましたが、平良選手が最後にしっかりとスタートを決めて優勝してくれました。野中選手もタイヤとの相性がマッチしてきました。ただ、週末全体を振り返ると満足できる内容ではありません。トゥルーリ選手も古谷選手も、さらに高いところで安定していけるように頑張りたいです。

## 2023 SUPER FORMULA LIGHTS Round 7・8・9



トヨタモビリティ中京

**Kuo**  
GROUP

**Deloitte.**

**PONOS**



坪井工業



損保ジャパン

東京アーバンコンサルティング

